

実証の背景・目的

【背景・課題】

湘南鎌倉総合病院では、近年の病院の規模拡大により、先端医療センターへの行き方をはじめ、多くの患者が道に迷う状況にありました。

【目的】

- ✓ 職員の対応時間削減による**業務効率化**
- ✓ 患者の回遊時間削減による**患者満足度の向上**
- ✓ 接触機会削減による**感染症対策**

実証の概要



利用したロボット

【実証で利用した機能】

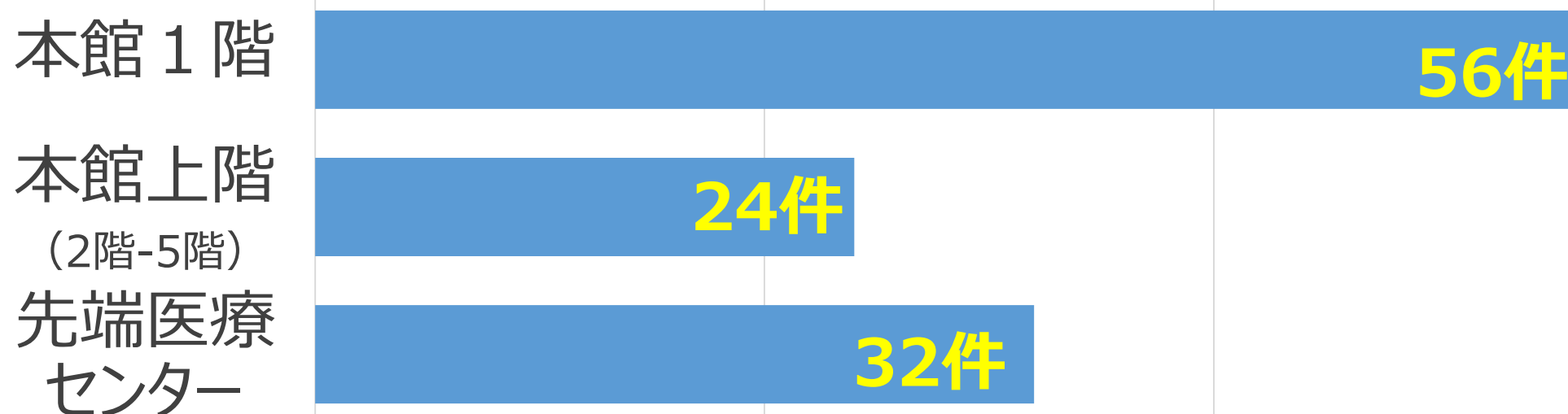
- ✓ **自律移動**による患者の誘導
- ✓ **複数台の引継ぎ**による自動ドアや階を跨ぐ移動

【運用方法】

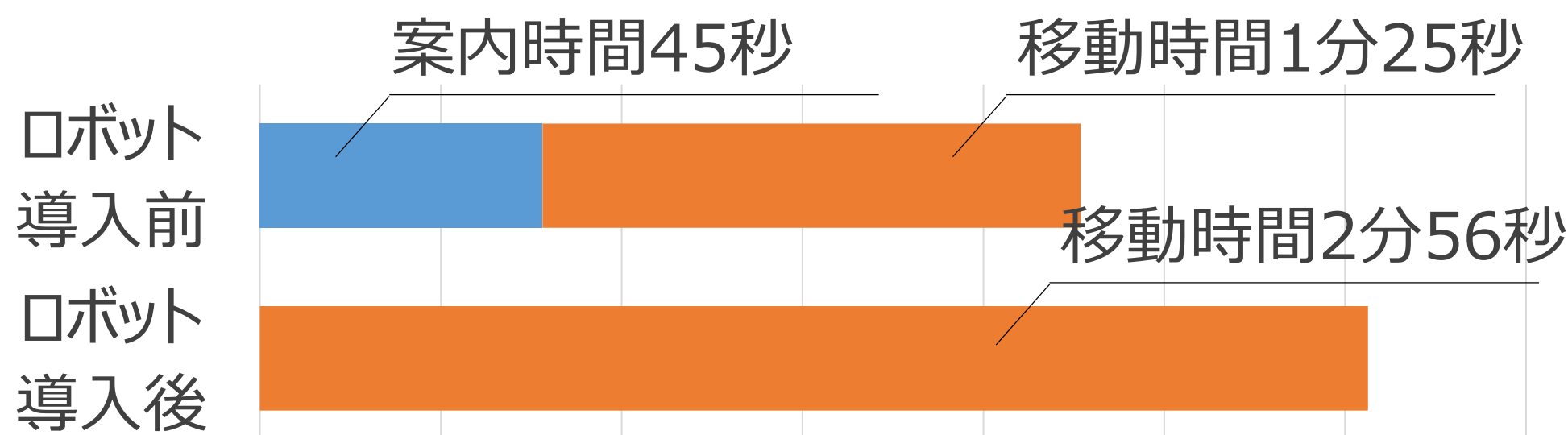
- ✓ 新規の来院患者を対象
- ✓ iPadまたはロボット画面に表示される目的地を指定し、誘導を実施

ロボット導入効果

本館1階設置ロボットによるご案内先の内訳
(全112件/月)



ロボット導入前後の移動と案内にかかる時間



- ✓ 案内業務の時間をゼロに**削減**
- ✓ ロボットにより、移動にかかる時間は増大

まとめ

【実証の成果】

- ✓ **自動ドア・階をまたがる誘導を実現**
複数台が誘導を引継ぐという新たなロボットの誘導支援の形を提案
- ✓ **案内業務の削減を実現**
案内業務にかかる職員の負担を削減

【課題・解決策】

- ✓ **移動時間の削減の実現**
混み合う院内でロボットが立ち往生する場面があり、優先通路を作るなどの工夫が必要
- ✓ **一層のロボット活用の実現**
案内開始操作をロボット画面で行う必要があったため、受付から遠隔操作で案内開始できるようにし、一層のロボット活用が必要

実証の様子

① 1 階で 3 階までの案内を指示



② 1 階エレベータまで自律移動で誘導



③ 3 階エレベータ前で誘導を引継ぎ



④ 目的地に到着

